

基本方針・活動計画

2010年3月

財団法人 三鷹国際交流協会

はじめに

三鷹国際交流協会（MISHOP）設立 20 周年に当たり、協会の「基本方針」と「活動計画」を確定しました。

「基本方針」は、今後協会がさまざまな活動を展開していくに当たっての基本的な考え方を明らかにしたものです。また、「基本方針」を具現化するための「活動計画」は、2009 年度から 2012 年度までを対象期間とし、この間に取り組む活動について、それぞれの内容や実施時期などをプランニングしたものです。

これらはいずれも、協会設立 20 周年に向けて設置した「MISHOP 設立 20 周年プロジェクトチーム」での検討結果がベースになっています。このプロジェクトチームは、協会の今までの取り組みの成果を検証するとともにこれからの活動の方向性を見定めようという考えのもと、2008 年 6 月に発足しました。約 50 人の会員の皆さんが、1 年 4 カ月、12 回の会議を経て報告書を取りまとめてくださいました。

MISHOP の活動のスタートは 1989 年 11 月に遡ります。三鷹と世界のまちが有効と親善の輪で結ばれるためには、市民の総意工夫による草の根の国際化が必要であるとの考えに基づいたものです。さらに、1996 年 11 月には、組織を発展的に改組して財団法人化し、市民の自発性に基づいた交流活動を支援するための体制整備を図りました。

その後、三鷹市で生活する外国籍市民が増加する中、2000 年代に入ると、MISHOP の活動として、外国籍市民が安心して生活できるよう支援することも必要ではないかとの考えが芽生え始めます。また、法人制度の改革が進み、2013 年 12 月までに活動内容にふさわしい組織形態を選択することが求められています。そして、このようなニーズの多様化と制度の変革に的確に対応していくためには、ビジョンを明確に見定め、その実現を計画的に推進していくことが必要です。

こうした大きな転換期にある今、協会としての「基本方針」と「活動計画」を確定したことは、非常に意義深いことであると思います。協会では、確定にあたり、様々な角度からの検討を行いました。この中で、プロジェクトチーム報告書の作成にあたって、メンバー各位の様々なご意見や、協会への思い・熱意が強く読み取れるものでした。

報告書をもとに、基本方針では「交流」「理解」「支援」の 3 つを柱とし、活動計画では支援活動を重要な事業と認識して、2010 年度事業にも新たな支援活動事業を実施していきます。

このように、今後 MISHOP は、この「基本方針」と「活動計画」をベースに、国籍にかかわらず市民が手をとりあって暮らす多文化共生社会の実現に向け、地域の国際化活動を積極的に展開してまいります。

最後に、プロジェクトチームのチームリーダー本郷好和さん、サブリーダーの那須博さ

ん、アドバイザーの新津晃一さんをはじめ、毎回の会議に熱心にご参加くださいましたメンバーの皆さんに、この場を借りて深く御礼申し上げます。

2010年3月

財団法人三鷹国際交流協会
理事長 菊地 弘

基本方針

この『基本方針』は、MISHOP がさまざまな活動を展開していくに当たっての基本的な考え方を明らかにしたものです。

また、個々の活動を明確な目標をもって展開できるよう、基本方針に基づく活動体系を設定しました。

MISHOP は今後、この基本方針を協会運営の指針とし、活動体系に基づいて中長期の計画や、各年度の事業計画を策定するなど、計画性とビジョンをもった協会運営に努めていきます。

基本方針

三鷹国際交流協会（MISHOP）は、市民ボランティアの参画のもと、地域の国際化を

推進するため、

市民と外国籍市民の交流を促進する活動

市民の国際理解を促進する活動

外国籍市民の生活・教育を支援する活動

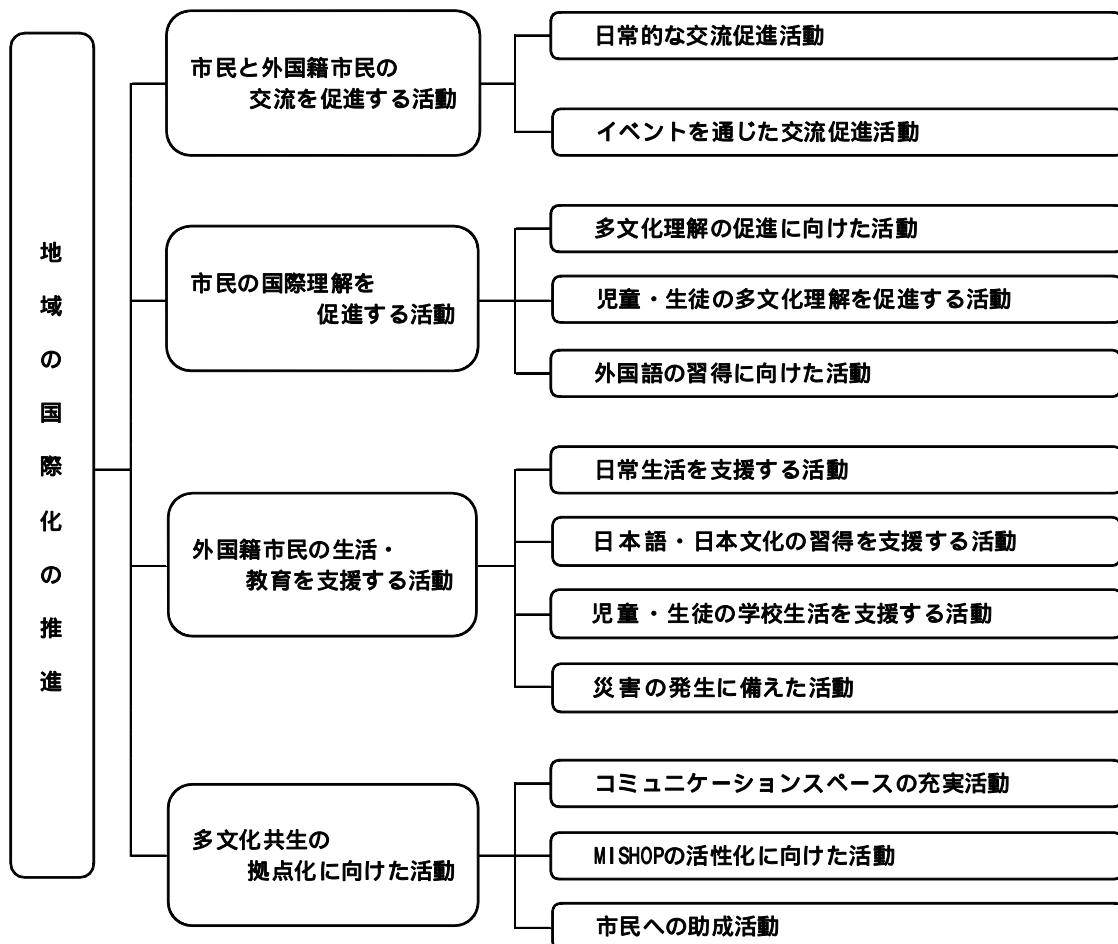
を積極的に展開します。

また、こうした「交流」「理解」「支援」に向けた活動の基盤として、

多文化共生の拠点化に向けた活動

を着実に推進します。

「MISHOP 基本方針」に基づく活動体系



活 動 計 画

計画の目的・性格

この計画は、「基本方針」を具現化するための具体的な活動計画です。

MISHOP は、この計画をもとに、市民や三鷹市と協働で、地域の国際化に向けた活動を展開していきます。

計画の期間

この計画の対象期間は、2009 年度から 2012 年度までの 4 年間とし、この間に取り組むすべての活動について、それぞれの「目的」と「概要」、活動展開に当たっての「視点」、中心となって「推進」に携わる機関、活動展開年次の「計画」をプランニングしています。

ただし、2012 年度までの間に社会情勢の変化などによって計画の修正が必要になった場合には、各年度の事業計画の中で柔軟な対応を図ります。

計画の推進

この計画を推進するに当たっては、限られた財源、人材を有効かつ効率的に活用し、全体の活動のバランスをとりながら、効率的・効果的な協会運営に努めます。

市民と外国籍市民の交流を促進する活動

日常的な交流促進活動

ジャパニーズ・イングリッシュラウンジ

継続

目的 外国籍市民と日本人が自由に集まり、日本語や英語を媒体に相互交流と多文化理解を深める場であることを基本としながら、参加する外国籍市民の日本語習得、ニーズ把握、生活相談などの場として、積極的な活動展開を図ります。

概要 定期的な集まりをベースに、時宜に応じたイベント(課外ラウンジ)を開催するなどして、魅力ある活動を展開します。また、市民の多文化理解に向けた企画で発信者の役割を担える外国籍市民の発掘・育成に努めていきます。

視点 実施に当たっては、日常生活相談活動や日本語習得支援活動、LLJなどとの連携を密にしながら、地域の国際化に向け、有機的な活動を展開します。

推進計画 ボランティア、事務局

2009年度	2010年度	2011年度	2012年度



ジャパニーズラウンジ

交流サロン

再構築

目的 ボランティア主体の交流の活性化に向け、交流サロンの活動を再構築します。

概要 ジャパニーズ・イングリッシュラウンジの一環として実施してきた「課外ラウンジ活動」、MISHOPの主催事業である「世界を食べよう」や「バスハイク事

業」などを統合し、日本人と外国籍市民、外国籍市民同士の交流の機会を、広がりをもたせながら積極的に展開していきます。

視 点 活動内容の固定化を避けるとともに、個々の企画のコンセプトを明確にしなが
ら実現に努めます。

推 進 ボランティア、事務局

計 画	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度
		再構築		

世界を食べよう

「交流サロン」に移行・統合

概 要 「食」を通じた国際交流と多文化理解を目的として実施してきた「世界を食べよう」を、「交流サロン」の中での企画事業に移行します。また、広く市民に向けて外国籍市民が自国の食文化を紹介する機会にもなるよう、「外国籍市民発信型の多文化理解促進活動」の企画事業としての実施を検討します。

計 画	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度
		移行・統合		

バスハイク事業

「交流サロン」に移行・統合

概 要 市民と外国籍市民との相互理解を図るとともに、外国籍市民に日本文化を紹介するために実施してきた「バスハイク」を、「交流サロン」の中での企画事業に移行します。

計 画	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度
	移行・統合			

イベントを通じた交流促進活動

国際交流フェスティバル

拡充

目 的 多くの市民に国際交流を楽しんでもらう機会を提供するとともに、MISHOP を三鷹市にとどまらず東京都・全国に向けて PR していくため、国際交流フェスティバルの内容・質を拡充します。

概 要 大人から子どもまで、また、国籍を問わずすべての市民に「国際交流」を楽しんでもらえるような企画とします。また、今まで以上に「国際性」を豊かなものにするとともに、参加者が「国際交流」を実感できるイベントとします。さらに、その時々の世界の動きなどを視野に入れた「テーマ性」を重視し、テントショップの出店者選定やステージの出演者の構成にそのテーマを反映さ

せるようにします。

視 点 実施に当たっては、参加者のみではなく、ボランティアスタッフの満足度向上のための手法を検討します。

推 進 フェスティバル実行委員会

計 画

2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度
拡 充			



国際交流フェスティバル

国際交流ウォークラリー

継続

目 的 コンセプトを明確に設定し直した上で、「国際交流ウォークラリー」を継続していきます。

概 要 従来、参加者相互の交流を深めることを目的に実施してきた「国際交流ウォークラリー」について、今後は基本的なコンセプトを、 外国籍市民と日本人との交流、 外国籍市民に三鷹を知ってもらう機会、 沿道市民への MISHOP の PR、 の3点に置いて継続していきます。

視 点 効果的な MISHOP の PR 方策について、ボランティアの発案を受けながらさまざまな手法での実施に努めます。

推 進 市民交流委員会

計 画

2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度



国際交流ウォークラリー

国際交流スキーツアー

継続

目的 青少年層の国際交流を目的とした「国際交流スキーツアー」を、継続していきます。

概要 スキーを楽しむことを通じて、青少年層の外国籍市民と日本人の会員ボランティアとの交流を図ります。

視点 2009年度から児童・生徒の生活・学習支援活動を開始するため、これとの連携方策を検討していきます。また、青少年層の交流の手法としてスキーが適切であるか否かについて、継続して検討していきます。

推進 青少年企画委員会

計画

2009年度	2010年度	2011年度	2012年度



国際交流スキーツアー

フェアウェルパーティー

継続

目的 MISHOPの1年間の活動を振り返るとともに、ボランティアと外国籍市民との親睦を深める「フェアウェルパーティー」を、継続していきます。

概要 毎年末に、ボランティアと外国籍市民の参加による「フェアウェルパーティー」を開催します。

視点 ボランティアの企画・運営によるイベントとして、内容の充実を図ります。

推進 市民交流委員会

計画

2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
(20周年事業のため見送り)	再開		

市民の国際理解を促進する活動

多文化理解の促進に向けた活動

国際理解講座

継続

目的 すべての市民の多文化理解の促進に向け、国際理解講座を継続して開催していきます。

概要 タイムリーなテーマの選定など、質の向上を図りながら、国際理解講座を継続して開催していきます。

視点 2008年度から、従来行っていた「MISHOP フォーラム」を国際理解講座に統合したことに鑑み、講座の開催形式を一方的な講義形式に固定せず、さまざまな形態での実施を検討します。

推進 国際理解委員会

計画

2009年度	2010年度	2011年度	2012年度



国際理解講座

外国籍市民発信型の多文化理解促進活動

新規

目的 すべての市民が、さまざまな文化の違いを生活者の目線で理解し合えるよう、外国籍市民が発信者となって自国の慣習・文化などを紹介する機会を設けます。

概要 衣食住など、広く日常的な慣習・文化に関することからをテーマに、外国籍市民が生活者の目線で日本人や他国籍の外国籍市民に発信する場を設けます。

この際、参加型・体験型の活動とし、発信者と参加者が一体となってさまざまな文化の違いをお互いに理解し合える場となるよう努めます。また、ひとつの事象を通じてさまざまな考え方の違いを理解し合えるよう、テーマ性を重視した活動とします。

視 点 実施に当たっては、ジャパニーズ・イングリッシュラウンジ活動などとの連携の中で、発信者となる外国籍市民の人材発掘・育成に努めます。また、外国籍市民の市民活動への参画を促します。

推 進 国際理解委員会

計 画	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度
	検 討	検 討	準 備	開 始

NGO 交流会

「国際交流フェスティバル」に移行・統合

概 要 NGO の活動を広く市民に周知し理解してもらうため、従来の開催方法を見直し、多数の集客がある国際交流フェスティバルの機会を捉え、そこでの PR と交流へと実施手法を転換します。

推 進 市民交流委員会、フェスティバル実行委員会

計 画	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度
	移行・統合			

児童・生徒の多文化理解を促進する活動

国際理解教育プログラムの提供

拡充

目 的 児童・生徒の多文化理解に向け、2000 年度に開始した小中学校向けの「国際理解教育プログラム」を拡充し、従来のパッケージ化したプログラムからの転換を図ります。

概 要 MISHOP の人材とノウハウを最大限に活用しながら、学校ごとに異なる要請に広範かつ柔軟に対応し、学校にとって利用しやすいサービス提供となるよう努めます。また、小中学校にとどまらず、市内の高等学校などからの要請にも応えていきます。さらに、より多くの外国籍市民がこの活動の担い手となるよう、日々の協会活動の中で人材を育成・確保していくとともに、学校への PR にも積極的に取り組みます。

視 点 実施に当たっては、教員から意見を聞いたり PTA との協働実施を模索するなど、広く学校関係者との連携を強化していきます。

推 進 青少年企画委員会

計 画

2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度
	拡 充		



国際理解教育プログラム

子ども交流会

継続

目 的 子どもたちの多文化理解の促進に向け、子ども交流会を継続して開催していきます。

概 要 子ども同士あるいは親子が楽しみながら国際理解を深めることができるよう、企画内容を工夫しながら、活動を継続していきます。

視 点 各小中学校での国際理解教育の充実や、MISHOP の「国際理解促進支援活動」の再構築などをふまえ、本活動の必要性の有無について、継続して検討します。

推 進 青少年企画委員会

計 画

2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度

外国語の習得に向けた活動

中国語入門講座

継続

目 的 市民が日常生活の中で外国籍市民と交流し、理解する一助となるよう、語学入門講座を継続して開催します。

概 要 市内の外国人登録者の約 30%が中国国籍（台湾を含む）であることから、中国語の入門講座の開催を継続します。

視 点 実施に当たっては、市民が外国語を習得する際のきっかけづくりとしての入門とすることをベースに、多文化理解の促進に向けたカリキュラムを検討します。

推 進 国際理解委員会

計 画

2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度



中国語入門講座

ハンゲル入門講座

継続

目 的 市民が日常生活の中で外国籍市民と交流し、理解する一助となるよう、語学入門講座を継続して開催します。

概 要 市内の外国人登録者の 30%近くが韓国・朝鮮国籍であることから、ハンゲルの入門講座の開催を継続します。

視 点 実施に当たっては、市民が外国語を習得する際のきっかけづくりとしての入門とすることをベースに、多文化理解の促進に向けたカリキュラムを検討します。

推 進 国際理解委員会

計 画

2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度

外国籍市民の生活・教育を支援する活動

日常生活を支援する活動

日常生活相談

新規

目的 外国籍市民が地域の中で安心して生活できるよう、MISHOP がよろず相談所兼インフォメーションセンターとなり、日常生活に関する相談に応じます。

概要 日常生活相談の場として、外国籍市民が気軽に立ち寄れる体制を整えます。軽微な相談については、MISHOP で蓄積した情報や行政機関との連携などによって、的確かつスピーディなアドバイスを行うよう努めます。また、法律問題や労働問題、入国管理など、対応に当たって専門的な知識が必要なものについては、専門の相談機関や窓口を紹介するなどして、適切な問題解決に向けた支援を行います。さらに、外国籍市民に関する日本人からの相談についても、情報提供や専門機関の紹介を行うなどの対応を行い、すべての国籍の人が地域の中でお互いを理解し合いながら生活できる環境整備・まちづくりに努めます。

視点 実施に当たっては、事務局が直接相談を受けるだけでなく、ボランティアとの連携を密にし、ボランティア活動を通じた相談に事務局が情報を提供するなど、MISHOP の活動全般の中でさまざまな相談に対応していく体制を整えます。また、その一環として、積極的な情報収集と情報蓄積に努めます。

推進 ボランティア、事務局

計画

2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
開始			

通訳・翻訳ボランティアサービス

拡充

目的 外国籍市民の円滑な地域生活の実現に向け、通訳・翻訳ボランティアサービスを拡充します。

概要 2009年度から三鷹市の全面委託を受ける通訳・翻訳ボランティアサービスについて、受託範囲である市の窓口業務などを中心とした対応に加え、MISHOP で受ける日常生活相談での課題解決や関係機関の相談窓口などにも対応でき

るよう、柔軟に運用していきます。

視 点 外国籍の保護者が学校の保護者会や個人面談などでもサービスを円滑に利用できるよう、小中学校との調整を進めます。また、医療機関でのサービス提供について、検討を進めます。

推 進 ボランティア、事務局

計 画

2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
拡 充			



通訳ボランティアの活動

日本語・日本文化の習得を支援する活動

日本語習得支援

「日本語入門講座」の再構築

目 的 外国籍市民が地域コミュニティの中で安心かつ円滑に生活できるよう、日常会話や生活習慣、さらには日本文化を学習する機会を積極的に提供します。

概 要 既存の「日本語入門講座」を再構築し、外国籍市民が日常生活を営む上で最低限習得しておく必要のある日常会話を体系的に学習できるよう、MISHOP独自の日本語習得支援カリキュラムを作成します。また、外国籍市民がこのカリキュラムに基づいた学習を年間を通じて継続できるよう、活動日を拡大します。

視 点 再構築に当たっては、すでに外国籍市民への日本語習得支援を行っているLLJ活動との役割分担や連携のあり方について検討し、MISHOP全体として、有機的な日本語習得支援の実施に努めます。また、LLJとの連携の中で、生活習慣や日本文化学習機会の提供手法を模索します。

推 進 ボランティア、事務局

計 画

2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
検 討	再構築		



日本語入門講座



LLJ の活動

日本語教授法入門講座

再構築

目的 MISHOP で行う外国籍市民や外国籍児童・生徒の日本語習得支援のためのボランティア活動の活性化とスキルアップに向け、既存の「日本語教授法入門講座」を再構築します。

概要 「日本語教授法入門講座」のカリキュラム内容を見直し、MISHOP で展開する外国籍市民や外国籍児童・生徒の日本語習得支援ボランティアの活動に生かせる講座となるよう、それぞれの活動に特化した形での講座へと転換します。

視点 すでに活動しているボランティアにとっての有益性のみならず、多くの市民が今後 MISHOP で活動するきっかけともなるよう、プログラムを検討します。

推進計画 ボランティア、事務局

	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度
再構築				

児童・生徒の学校生活を支援する活動

子ども教室

新規

目的 外国籍の児童・生徒が楽しく充実した学校生活を送れるよう、日本語や学校教科の習得支援を行います。

概要 外国籍の児童・生徒や帰国子女など、日本語能力が十分でない小中学生に、生活対応言語を中心とした日本語の習得支援と、学習思考言語を中心とした教科の習得支援を行います。また、この活動を担うボランティアのスキルアップに向け、積極的な研修の実施に取り組んでいきます。このほか、2008 年度から開始した「外国籍の保護者への小学校説明会」を継続して実施します。

視点 実施に当たっては、三鷹市教育委員会と MISHOP が協働で行っている「語学サポート」との連携を強化し、外国籍の児童・生徒が学校の内外でさまざまな

サービスを活用しながら学校生活を円滑に送れるよう、支援体制を整えます。また、市内の関連団体と連携しながら、子どもたちが自宅の近くでサービスを利用できる地域分散型の支援体制を整えます。

推 進 計 画 青少年企画委員会、ボランティア、事務局

2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度
開 始			



子ども教室

語学サポート

継続

目 的 外国籍の児童・生徒が学校生活を円滑に送ることができるよう、語学サポートの派遣を継続して実施します。

概 要 市の教育委員会からの要請に応じて市内の小中学校に派遣している「語学サポート」について、「子ども教室」との連携を強化し、それぞれのサービスの補完によって、児童・生徒が学校生活を円滑に送れるようサポートしていきます。

視 点 「語学サポート」で対応する児童・生徒支援の到達目標を設定する中で、「子ども教室」との棲み分けを明確にしながら活動を継続していきます。

推 進 計 画 青少年企画委員会、ボランティア、事務局

2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度

災害の発生に備えた活動

災害発生時の外国籍市民支援

継続

目 的 三鷹市との防災パートナーシップに関する協定に基づき、外国籍市民の防災行動力の向上のための活動に継続して取り組んでいきます。

概 要 外国籍市民の防災行動力の向上のため、ホームページなどを活用しながら、災害知識の啓蒙・啓発活動を推進します。また、災害発生時に MISHOP の理事・

会員・事務局が外国籍市民支援活動を適切かつ円滑に行うことができるよう、「災害時外国籍市民支援センター設置・運営マニュアル」の内容充実とその周知を図るなど、災害発生に備えた体制の強化に努めます。

視 点 外国籍市民や支援ボランティアの参加による防災訓練を、機会を捉えて積極的に実施していきます。

推 進 理事会、ボランティア、事務局

計 画	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度

通訳・翻訳ボランティアサービス

継続

目 的 災害発生時に通訳・翻訳ボランティアが円滑に活動できるよう、平素からの備えを整えます。

概 要 災害時に活動できるボランティアの的確な把握や、新たな登録者の拡充など、災害に備えた体制の整備に努めます。また、こうしたボランティアに定期的にメール配信を行うなど、意識の継続・強化を図ります。

視 点 三鷹市で行っていた通訳・翻訳ボランティア研修を、2009 年度から MISHOP が請け負うこととなるため、体制整備、意識啓発、スキルアップ全体を一貫して推進する方策を検討します。

推 進 ボランティア、事務局

計 画	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度

多文化共生の拠点化に向けた活動

コミュニケーションスペースの充実活動

MISHOP フロアーのコミュニケーションスペース化（ハード面）

新規

目的 MISHOP が「支援」「理解」「交流」活動を積極的に推進していくことができるよう、また、サロンとしての機能を果たすよう、国際交流センターの整備を行います。

概要 今後の活動の方向性を見据え、備品や機器の充実、レイアウトの変更など、国際交流センターの環境を整備します。また、外国籍市民や国際化に関心のある市民が、たまり場のように気軽に立ち寄れるスペースとなるよう、情報コーナーの充実などの環境・雰囲気づくりに努めます。

視点 MISHOP フロアーが広く市民に開かれたものとなり、様々な活動展開を効率的に行えるよう、限られたスペースの有効利用という観点から備品類の選定を行います。

推進 ボランティア、事務局

計画	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
整備				

MISHOP フロアーのコミュニケーションスペース化（ソフト面）

新規

目的 MISHOP の今後の活動の広がりを見据え、限られたフロアーを有効に活用するため、運用に当たってのポリシーを明確にします。

概要 フロアーを効果的・効率的かつ公正に利用するため、既存の諸活動の実態調査を行いながら新規活動との調整を図り、利用に当たってのルールを明確にします。また、確定したルールについて、広く市民への周知に努めます。

視点 フロアーの日曜開館については、今後の課題として継続的に検討します。

推進 ボランティア、事務局

計画	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
実施				

MISHOP の活性化に向けた活動

積極的な情報発信

継続

目的 MISHOP の活動を広く市民に周知し活動への参画を促すとともに、外国籍市民への生活支援の一環として、積極的な情報発信活動を展開します。

概要 ホームページの内容充実、パンフレットやリーフレットの作成・配布などを積極的に進めていきます。また、さまざまなネットワークを活用しながらの効果的な PR の手法を検討し、実行していきます。さらに、外国籍市民が日常生活を送る上で有益な情報を積極的に収集し、ホームページやニュースレターなどを活用しながら、わかりやすくタイムリーに提供していきます。

視点 MISHOP の PR、外国籍市民への情報提供のいずれについても、画一的な手法ではなく、さまざまな媒体を活用しながら、効果的で効率的な手法の確立を目指します。

推進 企画広報委員会

2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度

ネットワークの促進

継続

目的 MISHOP の活動のさらなる発展に向け、関連機関との連携強化に努めます。

概要 関連機関との情報共有、共催での活動展開などにより、MISHOP の「支援」「理解」「交流」活動をより効果的・効率的・円滑に展開するとともに、さまざまなサービス提供のネットワーク化を推進していきます。

視点 市内の NGO などとの協働により、MISHOP 活動の発展のみならず、NGO 活動の支援にも努めていきます。

推進 ボランティア、事務局

2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度

会員活動活性化と委員会のあり方についての検討

新規

目的 MISHOP の活動のさらなる活性化に向け、ボランティア活動や委員会のあり方についての検討を進めます。

概要 法人制度改革を見据えながら、ボランティア活動の活性化と、委員会のあり方についての検討を進めます。また、自主グループ活動のあり方などについても検討し、MISHOP の活動全体が活性化するよう、さまざまな仕組みを整えま

す。

視 点 三鷹市と協議しながら、2011 年度までに新たな法人制度に移行することを目指して準備を進めます。

推 進 理事会、ボランティア、事務局

計 画	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度
	検 討	検 討	移 行	

市民への助成活動

ホームステイ助成金

継続

目 的 日本人と外国人がお互いの文化に直接触れ合う中で多文化理解を育むことができるよう、ホームステイ助成を継続して実施します。

概 要 MISHOP が行う活動の一環として市民が外国人をホームステイさせた場合などに、経費の一部を助成します。

視 点 市民ニーズや実績の推移などを勘案しながら、今後、制度のあり方などについて検討します。

推 進 理事会、事務局

計 画	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度

NGO 活動助成金

継続

目 的 市民による国際協力の推進と、市民の国際化意識の醸成に向け、市内を中心に活動する NGO や市民グループに対する助成を継続して実施します。

概 要 市民レベルでの海外被災地への援助活動や、外国籍市民への援助活動などを民間団体が行う場合に、費用の一部を助成します。

視 点 市民ニーズや実績の推移などを勘案しながら、今後、制度のあり方などについて検討します。

推 進 理事会、事務局

計 画	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度